

議案質疑

開会日に提出された議案に対する質疑は、3月8日に行われ、3人の議員が質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第3号

道の駅の改修、拡充の費用分担は

【三浦議議員】

道の駅グランテラス筑西の指定管理の仮協定書には、市は指定管理者に指定管理委託料は支払わず、指定管理者は市に納付金を支払わない。また、指定管理者は剰余金が発生したときは施設の修繕、その他必要な場合に備え、適正に管理することになっている。今後は、道の駅の施設改修や拡充も想定されるが、その経費の取り決めはどうなっているのか。

【土木部長】

改修費用は、指定管理業務に関する仕様書に定めがあり、



30万円未満は指定管理者が負担し、30万円以上の場合、市と指定管理者で協議することになっている。また、拡充等の費用は、その内容や規模によりその都度、市と指定管理者で協議することとしている。

【三浦議議員】
委託料を支払わず、納付金も支払わない関係は、指定管理者が自己責任で運営することが前提である。黒字であれば問題はないが、市民は道の駅が赤字になることを心配している。赤字の場合の想定は。

【土木部長】
道の駅のオープン後は適正な管理と監視を行い、赤字とならない運営を目指したい。

議案第9号

問 今後の人口減少対策について

【鈴木聡議員】

市長は人口10万人を死守するとして、人口減少対策に力を入れていくが、生まれてくる子供より亡くなる人が多く、人口は減ってきている。幼児教育無償化を決定した国の動向等も含め、本市の今後の人口減少対策の方針は決まっているのか。

【企画部長】

本市の総合戦略が終了する平成31年度を第1次総合戦略検証の年と考えている。国・県では平成31年度に第2次総合戦略を策定する方向で、本市でも国・県の戦略との整合を図りながら、新たな第2次総合戦略の策定に取り組んでいきたい。

【鈴木聡議員】

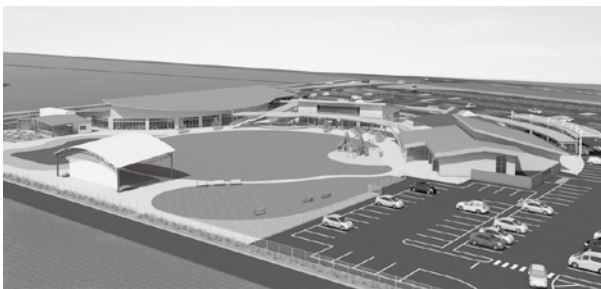
市長が掲げた人口10万人を死守できなければ大きな問題であり、幹部職員も真剣さを

視察報告

【道の駅グランテラス筑西】 工事現場視察会

本年9月に開催される茨城国体前の開業を目指し、建設が進む『道の駅グランテラス筑西』の工事現場視察会が2月5日に行われました。

当日は、工事の進捗状況等の説明を受けた後、現場を視察しました。



道の駅完成イメージ図



もって取り組むべきと考えるが。

【企画部長】

これまでの取り組みが成果としてあらわれていない要因等をよく分析し、しっかりと取り組んでいきたい。

【鈴木聡議員】

移住・定住には力を注いでいるが、出生率向上への策は。

【市長】

出産祝金や不妊治療費補助など、財政面も考え、各種方策を模索している。

議案第3号

問 市に納付金を支払わない理由は

【小島信一議員】

営利施設が入る道の駅を管理する株式会社ちくせい夢開発に納付金を義務付けしないのは、利益を上げようとする動機、モチベーションを下げてしまわないか。

【土木部長】

道の駅は、会議室や屋外広場など非収益施設も多く、農産物などの直売施設も多くの収益を生む仕組みとはなっていない。また、施設全体の管理を独立採算による運営を前提とし、市は指定管理料を一切支払わず、管理者も市に施設使用料を支払わないこととしている。

【小島信一議員】

誘客のための過剰なサービスやPR、不合理な人件費のかけ方や役員報酬に経費をかけ過ぎてしまう心配はないか。

【土木部長】

道の駅の管理運営会社には、無理・無駄を省いた効率的で健全な運営と、将来の発展を見据えた管理運営を行っていただけるよう引き続き密な連携を図っていく。

【小島信一議員】

ちくせい夢開発の財務諸表等の経営資料を議会に提示することを協定書に明記すべきでは。

【土木部長】

市が出資する第三セクターの運営状況に関する調査及び報告は、地方自治法で出資割合に応じて定められており、市の出資割合が73.3%であるため、議会に対し、毎事業年度、当該法人の事業計画及び決算に関する書類を提出することとなっている。



人事紹介

副市長の選任に同意

筑西市副市長として、地方自治法の規定により次の方の選任に同意しました。



まきひろ 雅裕
きくち 菊池
筑西市布川590番地9 (61歳)

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員1名が辞職されたため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により次の方の任命に同意しました。

くさき 草間 武 (新任)

筑西市東石田994番地



現場説明の様子